

## 平成30年度 第28回全国女性建築士連絡協議会 アピール

公益社団法人日本建築士会連合会  
女性委員会

全国女性建築士連絡協議会は、平成2年に発足し、今年で28回目を迎えます。女性委員会を立ち上げられました初代女性委員長をはじめ、連合会会長および女性委員会担当副会長、各都道府県単位士会の会長、女性委員会（部会）、事務局など多くの方々のご協力とご理解に深く御礼申し上げます。

はじめに、6月18日に発生しました大阪府北部地震、さらに7月の西日本を中心とした豪雨に被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。一日も早く日常が戻られますようお祈り申し上げます。

7年前に東北で発生しました東日本大震災後から、熊本地震、鳥取県中部地震などの復興状況の情報発信を毎年継続して実施し、女性ならではの地域に根ざした様々な活動をご報告いただいております。年月が経っても風化させてはならないという思いと、情報発信の継続が全国の防災活動の促進と、地域と一体となる防災活動の指針となる事を目指しています。今年も宮城県、福島県、熊本県から現状報告をいただき、また、先月発生しました大阪府北部地震について、大阪府建築士会より災害の状況と、実際に活動された内容を報告していただきました。情報を共有することで建築士としてこれから何ができるか、共に模索してまいりたいと考えます。

本年度は、メインテーマを「未来へつなぐ居住環境づくり」とし、～一周遅れで先頭に 伝統こそ最先端 ～をサブテーマにいたしました。私たち女性建築士は、住まいの中から失われつつある日本の伝統を改めて捉え直し、これからの居住環境づくりに活かしていきたいと考えます。

1日目の約300名の女性建築士が一堂に会する全体会では、山本長水氏をお迎えし、地域に根付いて発展を遂げてきた土佐の木造建築についてご講演いただきました。

2日目の分科会では、「防災への取り組み」「建築女子がきづく未来」「歴史的建造物と建物再生」「会員拡大に向けた取り組み」「自治体連携とまちづくり」「地産材」活用の取り組み」「高齢社会と住まい」「既存民家の活用」の8つのテーマのもとに熱心に討論を進めました。

それらの成果として、以下の点を今年のアピールとして発表し、発信してまいります。

1. 私たちは、今回の協議会を通し、地域に根ざした活動に取り組み、暮らしやまちづくりにおいて生活者に心から寄り添える居住環境づくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、女性建築士として、伝統的な住まいづくりの大切さを再認識し、地域の素材を積極的に活用することに取り組んでまいります。
3. 私たちは、継続してきた災害報告等を通し、女性建築士として、これからの復興支援のあり方とそれぞれの地域に沿った防災を考え、これからの暮らしを守ります。
4. 私たち女性建築士は、様々な専門家と連携しながら、建築士としての能力を発揮して、暮らしやすい社会の実現のためには何が必要か日々模索してまいります。